

LOOK & LOOK 辰野高校

VOL.3

平成17年 1月15日
生徒会総務部
小松原、高井、坂間、佐野



新聞記事にみる辰高 辰野高校は、普通科と商業科がある学校!

新聞各社の記事で紹介していただいた本校の活動を、まとめてみました。ごく最近の12月の新聞記事の中から選びました。ここに掲載した記事のほかにも、新潟県中越地震への義援金を辰野町町長さんにお渡しした記事と、このLOOK & LOOKについても取材をしていただきました。新聞各社に感謝します。

生徒研究発表会で研究成果を発表し、好評!

商業科3年は、桜陵祭に向けて「南パルの跡地利用を考える」研究をしました。今回の教育センターでの発表は、閉鎖後6ヶ月の同社を取材した内容に加え、さらに**分かりやすく発表内容を工夫**してみました。



専門学科の成果発表
県総合教育センター
(塩尻市)は十一日、県
内高校の農業や工業、商
業といった専門学科で学
ぶ生徒が授業やクラブ活
動の成果を紹介する合同
発表会を同センターで開
いた。写真。就職活動や



左から
加藤幸子さん(辰野中)
唐沢絵美さん(箕輪中)
中西 翔さん(辰野中)

他の商業科や他の学校の発表も参考になり、刺激を受けました。

進学の面接試験で求められる発表能力を養う狙いで、初めて企画。二十一年の三十グループが参加した。
持ち時間は二十分。辰野高(辰野町)商業科は、町内企業の工場の閉鎖を取り上げ、地図や写真を用いながら、地域経済への影響や跡地利用の展望を発表した。三年の唐沢絵美さんは「初めての人に分かってもらえるよう工夫した」と話していた。
このほか、松本松南高(松本市)は流行のファッション、南安曇農高(豊科町)は南米原産の野菜「ヤーコン」の栽培方法について発表した。

信濃毎日新聞12月12日

幼児の真剣なまなざしが..

「幼児たちの真剣なまなざしが**忘れられない**」有志で参加した御子柴早穂さん(南箕輪中)の感想です。読み聞かせを経験した先輩の中には、保育関係へ進学をした人もいます。

辰高生が読み聞かせ

中央保で園児聴き入る



たつの新聞12月19日

辰野高校図書委員会と有志合わせて四人の生徒が十五日、中央保園を訪問し、読み聞かせをした。五年目となる活動で、園児たちは高校生の「おねえさんが読んでくれる物語に身を乗り出して聴き入っていた。」
地域の読み聞かせ研修を受け、「せっかくだから保育園で実践させてもらおう」と始めた。顧問の野口操教諭は「以来、生徒たちは、子供たちの素直な反応がうれしいみたい、毎年、継続してきた」と活動を見守っている。
園児は、おもしろい場面では笑い声を立てる、最終は結末がどうなるかとじっと聞いていた。一冊読み終えると「もう一冊読んで!おきかなの話がいい」と園児から積極的リクエスト。
小沢とも子園長は「高校生は、自分たちに近い年齢だからか、子供たちは高校生に読んでもらうと新鮮みたい」と感想。一年続けて来た生徒は「自分たちが気がないところを、子供たちは興味を示したりして、おもしろい」と話していた。



琴に触れる生徒たち

地域の専門家を 招いて学ぶ。

地域の方々を社会人講師としてお迎えして、授業が行われます。この記事で紹介しているのは邦楽(琴・三味線・尺八)の様子です。

まったく初めての人もいれば、小・中学校で1~2回経験したことのある人もいました。いずれも、楽しい授業を受けれたと感想を話してくれました。また、講師の皆さんの演奏に、邦楽に新しい面を発見したと日ごろのギターを三味線に持ち替えて感想を熱く語った人もいます。

この他にも、**ケーキづくり**や、**そば打ち**、コンピュータを使った**Tシャツの絵柄付け**などで地域の方々に教わる授業がありました。専門家から教わる授業も楽しみです。

たつの新聞
12月22日

日本古来の楽器体験を

辰野高の授業に琴と三味線

県立辰野高校は十七日の音楽科選択科目で、琴と三味線の体験授業を始めた。今後四時間ほど時間を取り、最終的には合奏が出来る

この授業は「日本古来からの楽器を体験してもらおう」と、知人の音楽教諭から紹介を受けたという大庫こずえさん(駒ヶ根市)らが講師となり、五年ほど前から行っている。近年は同校卒業生の篠田仁美さん(箕輪町)も一緒に指導している。

この日は、実際に琴や三味線に触れながら、音の出し方などを習った。一部の小中学校では琴の体験授業も行われていることから、これまでに琴に触ったことがあるという生徒も見られた。



10分間で900字以上!

商業科では、1年生からコンピュータの学習を継続して行います。始めたばかりの1年生でも、1年たつ頃には200~300字の文章を10分間で打てるようになります。そして、**キーボードを見ないで打つ(ブラインドタッチ)**ができるようになると、かなりスムーズに打てます。3年生ともなると700~900字打てる人もたくさん出てきます。

柘植さん「高校に入学したころは、ほとんど打てない状況でした。キーの位置とかを覚えることに苦手意識がありました。そこで、ひとの**3倍練習**しました。2年生でワープロ検定1級(700字以上)が取れたときは**本当にうれしかった**です。継続は力なり。目標をもって努力することの大切さを学びました。」

藤本さん「ブラインドタッチができるようになって、(速度の練習が)**急に面白くなってきました**。しかし、そこからの伸びは決して順調ではなく、壁を乗り越えるつらさも経験しました。経験ゼロの状態から2年の秋に1級を取るまでになりました。699字では不合格、700字は合格。1字の重さを感じました。誰にでも可能性はあるのではないかと思います。チャレンジ精神が大切だと思います。」



感想を語ってくれた3年生の2人
左から藤本和希さん(塩尻広陵中)
柘植真知子さん(辰野中)